

<2025年2月27日発表>

西鉄グループ初となる 「グリーンローンならびにサステナビリティ・リンク・ローン」 を通じて、脱炭素社会の実現に取り組んでまいります

- 西日本鉄道(株)は、環境・社会双方の課題解決に貢献する事業の資金調達のため、当社グループ初のグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本資金調達」)の契約を締結いたしました。
- グリーンローンとは、調達資金の用途が環境問題の解決に貢献する事業(グリーンプロジェクト)に限定される融資で、今回 160 億円を調達いたします。本資金は、エネルギー消費量削減等の各種認証を取得し、環境負荷低減への貢献が期待される「ONE FUKUOKA BLDG.(2025年4月24日開業予定)」の建設費用に充当いたします。なお、今回のグリーンローンにおいては当社のサステナビリティファイナンス・フレームワークに基づき実行いたします。
- サステナビリティ・リンク・ローンとは、企業が設定したSDGsやESGに関する経営方針と整合した目標の達成度に応じて金利低下等のインセンティブを受けられる融資で、今回 40 億円を調達いたします。なお、サステナビリティ・リンク・ローンの重要な評価指標については、「西鉄グループ全社の国内事業所におけるCO₂排出量(Scope1・2)」とし、数値目標については、「2030年度に2013年度対比46%以上削減」としました。
- 当社グループでは、EVバス導入や再生可能エネルギー活用等の施策を進めており、本資金調達を通じて脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

1. グリーンローン

① グリーンローン(相対方式)

契約締結日	2025年2月25日
締結金融機関	福岡銀行、みずほ銀行、西日本シティ銀行
調達金額	60億円
資金用途	ONE FUKUOKA BLDG.(福ビル街区建替プロジェクト資金)

② グリーンローン(シンジケーション方式)

契約締結日	2025年2月25日
アレンジャー/エージェント	三井住友信託銀行
参加金融機関	あいち銀行、鹿児島銀行、北九州銀行、山陰合同銀行、常陽銀行、中国銀行、肥後銀行、広島銀行、みなと銀行、りそな銀行
組成金額	100億円
資金用途	ONE FUKUOKA BLDG.(福ビル街区建替プロジェクト資金)

③ サステナビリティファイナンス・フレームワークおよび外部評価

当社は 2023 年 10 月、「調達資金の使途」「プロジェクトの評価と選定プロセス」「調達資金の管理」「レポートリング」等の方針を記載したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しております。

- サステナビリティファイナンス・フレームワーク

https://www.nishitetsu.co.jp/ja/ir/stock/bond_and_rating/main/00/teaserItems1/01/tableContents/00/multiFileUpload10/link/NishitetsuFramework.pdf

また、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、グリーンローン原則等に適合していることについて、外部評価(セカンドオピニオン)を取得しています。

- 外部評価(セカンドオピニオン)

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/10/news_release_suf_20231019_jpn.pdf

2. サステナビリティ・リンク・ローン

契約締結日	2025 年 2 月 27 日
金融機関	日本政策投資銀行
調達金額	40 億円
KPI(※1)	西鉄グループ全社の国内事業所における CO ₂ 排出量 (Scope1・2)(※2)
SPT(※3)	KPI につき、2030 年度に 2013 年度対比 46%以上削減すること

※1: キー・パフォーマンス・インディケーター(経営上重要な指標)の略称

※2: 「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、日本政策投資銀行と対話を通じて設定した指標

※3: サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(数値目標)の略称

なお、サステナビリティ・リンク・ローンの詳細については、日本政策投資銀行が取りまとめた対話報告書をご参照ください

https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2024/html/20250227_205134.html

3. ONE FUKUOKA BLDG.について

- ONE FUKUOKA BLDG.は、“創造交差点 meets different ideas”をコンセプトに、多様性と偶発性に満ち、新たなビジネスや文化を生み出す、オフィス・商業・ホテル等の大型複合ビルです。
- 環境への取り組みとして、照明設備や空調設備に高効率な設備機器を導入するほか、ダブルスキンや太陽光追従型ブラインドの導入等で断熱性能を向上し、建物の省エネを実現しており、福岡市のチャレンジ目標である「2040 年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」や、天神明治通り街づくり協議会の掲げる「都市環境・地球環境に配慮した持続可能な都心部の構築」にも寄与するものと考えております。
- 本プロジェクトを通じて、環境に配慮した持続可能な社会の実現に寄与し、国内最高水準の安心・安全なビルの建設を目指しております。

【所在地】	福岡市中央区天神一丁目 11 番 1 号
【敷地面積】	約 8,600 m ² (約 2,600 坪)
【延床面積】	約 147,000 m ² (約 44,000 坪)
【階数】	地上 19 階、塔屋 1 階、地下 4 階
【建物高さ】	約 97m
【竣工日】	2024 年 12 月 27 日
【開業日】	2025 年 4 月 24 日(予定)
【用途】	商業、オフィス、カンファレンス、ホテル
【公式サイト】	https://onefukuoka-building.jp/



2021年4月
DBJ Green Building 認証
プラン認証 5つ星



日本政策投資銀行が創設。環境配慮以外にも社会への配慮を評価。当プロジェクトでは、省エネ・省資源、BCP、利用者の利便性・快適性・健康性等が主に評価されました。

2022年6月
LEED®予備認証
ゴールドランク



米国のグリーンビルディング協会が開発・運営。世界で最も普及している環境認証。当プロジェクトでは、オフィスフロアにおいて、省エネ、水の利用、室内環境の快適性等が主に評価されました。

2022年11月
ZEB・BELS 認証
ZEB Ready, Oriented



この建物用途のエネルギー消費量 **51%**削減
2022年11月25日交付 国土交通省告示に基づく第三者認証

ZEBとは建物で使うエネルギー消費量正味ゼロを目指した建物のこと。認証自体は第三者機関が行いますが、政府としてZEBの普及を推進しています。主には一次エネルギーの削減率を評価基準としています。

2023年9月
CASBEE-新築認証
Sランク



CASBEE(建築環境総合性能評価システム)は、省エネや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建築物の品質を総合的に評価するシステムです。

2024年8月
CASBEE-ウェルネスオフィス
Sランク



CASBEE-ウェルネスオフィスは、2019年に開発された、建物の環境評価に加え、オフィスビルの「健康性、快適性」「利便性」「安心安全」「運営管理」「プログラム」の5つの項目を評価する制度です。